



現代の治安維持法＝共謀罪を考えるうえで必須の歴史ドキュメンタリー。変わっていない治安警察。



DVD 『横浜事件を生きて』

ビデオプレス作品・1990年・58分 撮影・演出 松原明

戦時下の最大の言論弾圧事件と言われる「横浜事件」だが、その内容はほとんど知られることはなかった。事件は1942年から45年にかけて多数のジャーナリスト・知識人が検挙され、事実無根の共産党再建をでっちあげられ特高から激しい拷問を受けたもの。死亡者も出た。慰安旅行の1枚の写真が、共産党再建準備会の証拠とされた。拷問による自白をもとに有罪とされたが、戦後関係者が立ち上がった。このビデオはその生き残りのひとりである木村亨さんの再審請求のたたかいを中心に構成されている。元特高警察官が電話インタビューで語る本音。治安維持法の古い日本はまだ生きていた。

★万人に見てほしい＝白井佳夫(映画評論家)

ビデオ「横浜事件を生きて」は、抑制の効いたリアリズムで日本の歴史のなかにある重要な事件を、万人にわかる形で映像化したきわめてユニークな作品である。

★「昭和」考えるヒント＝土本典昭(記録映画監督)

ビデオという方法を活かしたいいい作品ができた。今まで横浜事件のことを知らなかったことが、まずいくらいの感じがしたが、その知らなかった引け目を感じさせないで見せてくれた。みんなで見て、改めて「昭和」を考え直すヒントになるだろう。

●まさしく共謀罪！「横浜事件を生きて」(58分)上映会ツアー●

3月25日(土)18:30 茅野市文化センター視聴覚室

26日(日) 9:30 諏訪市公民館講義室

26日(日)13:30 岡谷市諏訪湖ハイツ204号室

各回2時間程度・参加費300円(学生・生徒100円)・1990年制作・主人公その後死去

◆主催 すわこ文化村・問い合わせ先 090-4096-7065(毛利)

戦時中、「改造」「中央公論」など「最後の良心」60余人を投獄、

拷問によって「共謀」を虚構し、治安維持法有罪とした事件があった…

上映後のおしゃべり会で、共謀罪との関わりをじっくり見つめます。

1945年5月16日
東京
謀殺に仕立てた！

東京

謀殺